

くらしの情報

くらし

有害鳥獣の対策はお早めに

12月～3月にかけて繁殖期を迎えた有害鳥獣(農産物に被害を与えるイノシシやアライグマ)の活動が活発化します。

市では、農業を営む生産者にアライグマ捕獲檻の貸し出しや猟友会ヘイノシシ捕獲依頼などを行っています。有害鳥獣による農業被害にお困りの生産者は、気軽に相談してください。有害鳥獣の種類や対策などの情報は、「兵庫県森林動物研究センター」のホームページをご覧ください。



▲ホームページはこちら



(注)野生鳥獣の捕獲には「捕獲許可」が必要です。

問(市)農業振興課

人権擁護委員が就任

1月4日付で人権擁護委員2名が法務大臣から委嘱されました。
 實井 憲二さん
 中井 靖子さん

問(市)人権推進課

募集

市民農園利用者

日 4月～令和4年3月
 場 細目ファーム(志染町細目)
 内 野菜や草花の栽培
 期 3月12日(金)まで
 費 10,000円/区画(約30㎡)
 申 ☎☒☒ 市役所2階農業振興課にある申込用紙に必要事項を明記し、申し込んでください。

定 抽 若干名
 問・申込(市)農業振興課 農業政策係
 ☒ 82-9613

新型コロナウイルス感染防止のため、変更・中止になる場合があります。最新情報はホームページなどをご覧ください。

高齢者虐待かもと思ったら電話してください

高齢者虐待は一部の特別な高齢者に起こることではありません。介護に悩んだり、虐待かもしれないと思ったら、ひとりで抱え込まず相談してください(相談無料、秘密厳守)。

性的虐待 性的行為を強要する、嫌がる部位に触れるなど	身体的虐待 叩く、殴る、蹴る、打撲させるなど	心理的虐待 怒鳴る、ののしる、侮辱を含めた言動を浴びせるなど
ネグレクト(介護放棄) 食事や水分を与えない、入浴や排泄介護など必要な介護をしないなど	虐待の主な種類	
経済的虐待 年金や預貯金を無断で使う、自宅を勝手に売却するなど		

問 中央地域包括支援センター ☎89-2337

3月は「自殺対策強化月間」 気づいて ころの病気

誰にも相談できずに自ら命を絶つ方が後を絶ちません。あなたの周りに「最近、元気がない」「いつもと様子が違う」など気になる人がいれば、まずは「大丈夫？」とやさしく声をかけてください。あなたのひとことが、大切な人の命を守ります。

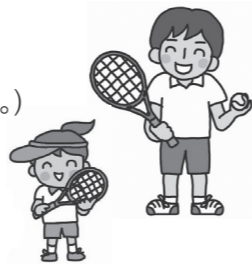
また、市や関係機関では相談窓口を開設しています。どんな悩みにも寄り添って、一緒に解決する方法を探します。迷わずに相談してください(相談無料、秘密厳守)。

- ころの相談窓口 ☎89-2471
 月～金曜 午前9時～午後5時(祝日、年末年始は除く)
- 兵庫県いのちと心のサポートダイヤル ☎078-382-3566
 月～金曜 午後6時～翌午前8時30分(土日祝 24時間)

問(市)障害福祉課

第3回ジュニアソフトテニス大会

日 3月28日(日) 午後1時～
 場 吉川総合公園 テニスコート
 (変更になる場合があります)
 対 市内在住、在勤、在学の方
 内 ダブルス(うち1名は小学生)
 期 3月9日(火)まで
 費 500円/組
 申 ☎☒☒ 市役所5階文化・スポーツ課にある申込用紙に必要事項を明記し、申し込んでください。



問 ソフトテニス協会 平井さん
 ☎080-3584-2968
 申込(市)文化・スポーツ課 スポーツ係
 ☒ 83-3699

一権の目

206

令和2年度「差別をなくする輪をひろげよう」市民運動作品

作文 中学校の部 優秀賞

「私の妹」

三木中学校2年 江口 寧しずる映

皆さんにとって、知的障がい児はどんなイメージですか。私は正直で明るく誰にでも優しい人達だと思っています。
 なぜそう思うかという私には2才下に支援学級で勉強をしている妹がいるからです。そして知的障がい者の人はどんな人かということもよく知っているからです。
 妹は「ダウン症」という染色体異常の障がいです。簡単にいうと、成長が通常の人よりゆっくりなので筋力も弱く、ほかの人よりもできることが少ない障がいです。
 でも、ほかの人よりもっといい所があります。それは、とても優しいことです。誰に対してもとても優しく接することができるし、いつもニコニコ笑顔で、動物も大好きな所

嫌なことがあると、すぐにおこります。でも、楽しいことがあると、さっきまでのことがうそみたいにさっさと笑います。そういう所はとても正直だなあと思っています。
 朝は、私と同じ時間に起きますが、何をするのも自分のペースなので、みんなよりゆっくりです。朝ごはんを食べる時も、服の着がえも、学校へ行く時の歩くスピードもゆっくりです。でも、とってもうれしそうに毎日学校へ通っています。学校が大好きだと言っていました。
 妹は、書道クラブに通っていた時期がありました。そこには色々な障がいを持った人達が来ていました。この書道クラブは、普通の書道クラブと違い、どんな書き方でもいいし、すみの他に絵の具を使ってもいいし、自分のやりたいように自由にできる書道です。みんな書道をしている時は、ニコニコ笑顔で楽し

そうでした。私も一緒にやってみました。とても面白かったです。きっと、この書道クラブに来ている人は、この書道のある日が待ち遠しいのだと思います。妹もニコニコ笑顔で取り組んでいました。
 でも、私は妹のことでイラッとすることがあります。用事があって急いでいる時でもあせることもなくゆっくりとしていたり、食事の好き嫌いに對しても、私達姉妹のようにきつい口調でしかられたりすることもなく、少し甘やかされている所です。他にもあります。スーパーなどで買い物している時、時々じろと見られることです。妹は何も悪いことをしていないのに、そういうことはやめてほしいです。どうしてこういうイヤな態度をとる人がいるのか、私は気になりました。どうしたらこのような人がいなくなるのかなと思いました。みんなは、妹のような障がいのある人

のことを知らないから、よく知ろうとしてじろと見ているのでしょうか。誰もが障がいのある人のことをよく知り、理解することができれば、そのような人がいなくなるのではないかと思います。
 だから私は、この機会にみんなに障がいのある人のことを知ってほしいです。障がいのある人と出会うことがあれば、どんなその人達とふれあってほしいです。そうすれば、障がいのある人を特別な目で見ることもなく、普通に接することのできる人達が増えていくと思います。
 障がいのある人もみんな同じ人間です。お互いに相手のことを理解すれば、仲良く友達になれると思います。だから、妹のような人達をもっと知ってほしいです。
 最後に、障がいの「ある」「なし」に関わらず、誰もが普通に平和に暮らせる世の中になってほしいです。そして、そのような世の中に変えていくのは、誰でもない私達自身だということをお忘れなさい。